

葬宵



●シナリオトレーラー

SIDに所属する、
ある血盟が殺された。

引き裂かれた誓い。
赤く染まった幸福。

先延ばしの終焉は、凶刃と化して彷徨^{さまよ}つ。

膿^{うみ}んだ傷口から零れるものは、
宿命^{しゅくめい}を呪^{のの}つ慟^う哭^うか、
蒼^{そう}穹^{きゆう}へと捧^{たも}ぐ愛の言葉か。

人鬼血盟RPG ブラッドパス
葬宵

——血の軌^く跡^{せき}こそ、汝^ならの宿命^{しゅくめい}。

「シナリオテーマ：青澄^{あおずみ}の行方を追う」

●サンプルキャラクター

クイックスタートでキャラクターを作成する場合、次の「サンプルキャラクター」を推奨します。

「特別監督官」（人間・『BTP』P126）

「華麗なる血闘者」（吸血鬼・『BLP』P126）

●シナリオスベック

・ステージセット…東京UTM

・想定プレイヤー人数…2人

・想定練度…1

・想定プレイ時間…3〜4時間

ストーリー

あおずみりょう

SIDに、青澄^{あおずみ}了（人間）とシエル（吸血鬼）という男女の血盟が所属していました。彼らは恋人同士でもあり、ついに結婚を果たします。しかし、彼らの幸せは長く続きませんでした。業血鬼の襲撃により、2人は死亡。しかし、現場からは青澄^{あおずみ}了の死

●シナリオハンドアウト

・人間PC用シナリオハンドアウト

推奨組織…SID

あおずみりょう

キミの同僚に、青澄^{あおずみ}了という特別監督官がいる。言動はやや軽いが、職務には忠実。血盟のパートナーでもあるシエルという吸血鬼と、つい先日結婚式も挙げた、まさに幸せ者だ。だが、そんな青澄夫婦が、業血鬼によって殺された。……いや、厳密には現場の状況から死亡が推測されるが、青澄^{あおずみ}了の死体のみ消えていたのだ。いったい、彼に何があったのだろうか。事件を追い、彼の行方を明らかにしなければ。

「シナリオテーマ：青澄^{あおずみ}了の行方を追う」

・吸血鬼PC用ハンドアウト

推奨組織…SID

キミとシエルは、同じSIDに協力する吸血鬼であり、親しい友人と呼べる間柄だ。彼女はパートナーである青澄監督官と恋仲にあり、キミもよく相談に乗ったものだ。その甲斐もあって、彼女はめでたく花嫁となった。だが、幸せは長く続かなかった。業血鬼によって殺された、青澄夫妻。だが、その現場には夫である了の死体は残されていなかった。事件を追い、了の行方を明らかにする……それが、キミがシエルにできる、最後の手向けだろう。

体だけが消失します。

青澄^{あおずみ}了は二度死んだ後、夜者（吸血鬼）として蘇り、復讐のために業血鬼を追っているのだ。そして、戦う力を手に入れるべく、裏社会の人間を虐殺して自ら業血鬼となる道を選びます。

青澄とシエルの同僚であり、知人でもあるPCたちは、SIDの命令により、姿を消した青澄^{あおずみ}了を追うこととなります。そして、青澄が業血鬼となったことを突き止め、彼を抹消^{さくしょう}すれば、シナリオは終了となります。

導入フェイズ

「導入フェイズ」では「マスターシーン1」と「マスターシーン2」を行なった後、「血盟の日常」と「事件への介入」を行ないます。

●マスターシーン1

「人間PC」は自動的に登場となります。「吸血鬼PC」が登場するかどうかは、プレイヤーが任意に決めてください。

時制は青澄とシエルの結婚前の回想場面。青澄と協力して業血鬼を倒したばかりの「人間PC」が、青澄^{あおずみ}了からプロポーズについて相談を受ける場面となります。シエルは怪我の治療のため「足先

に離脱しています)。なお、業血鬼はシナリオのストーリーとは関係ありません。

▼場面描写

東京のはずれにある倉庫。地面は抉れ、壁の一部は粉砕されている。キミと青澄了は、それぞれのパートナーと共に業血鬼と戦い、勝利した。キミたちの目の前で、業血鬼の身体は灰となって散ってゆく。

▼セリフ・青澄了

「ふー、やれやれ。手強い相手だった。」「PC」ちゃんと緒じやなきゃ、危なかったぜ」

「聞いたか？ 奴（やつ）さん、死んだ恋人の復讐のために業血鬼になったんだとよ」

（人間PCが業血鬼の素性について言葉を返したら）「ま、気持ち分かるが、業血鬼は業血鬼だ。きつちり息の根を止めてやるのが情けつてもんだわな」

「……ところで「PC」ちゃんよ。ひとつ相談があるんだが。……プロポーズつて、どうやってすればいいと思う？」

「そろそろ、オレもアイツ（シエル）と結婚しようと思つてさ。アイツがいない時に「PC」ちゃんに相談しようと思つていたんだ」

「断わられることはない……と思うんだが、やっぱり一生の思い出になる事だしさ。どうしたもんかと迷つてるんだよね」

「「PC」さん、今日は来てくれて、ありがとう」

（「PC」がおめでとう、と言つたら）「ふふ、ありがとう。なんだからすぐつたいけど、とても嬉しいわ」

「空も晴れて、本当におめでた。私ね、青空の下で結婚式をするのが夢だったの。吸血鬼になつて諦めていたけど……ブラッドパスのおかげで、夢が叶つちゃった」

「SIDに協力したから、了さんにも「PC」さんにも会えたし、人生つて何が起きるか分からないわね」

「仕事が段落したら新しい家に引っ越すの。招待するから、よかったら遊びに来てね」

（行くと言つたら）「ありがとう、また連絡するわ！」

◆場面終了チェック

・シエルが「吸血鬼PC」に結婚式が夢であったことを語った。
・シエルの誘いに「吸血鬼PC」が返事をした。

●血盟の日常

「血盟の日常」(「BLP」P216)では、血盟ごとに日常の演出を行います。GMは、PCの演出にキリがついたら、日比屋響子からSIDの課長室に呼び出される演出を入れましょう。ただし、マスターシーンで各PCが同時に場面に登場して

(アドバイスしたら)「なるほどなあ……さすが「人間PC」ちゃん、頼りになるぜ」

(自分で考えろと言つたら)「確かに、オレが自分で考えなきゃ意味ないか。もうひとつ、考えてみるわ」

◆場面終了チェック

・青澄了が「人間PC」に、倒した業血鬼について話した。
・青澄了の相談に「人間PC」が返事をした。

●マスターシーン2

「吸血鬼PC」は自動登場となります。「人間PC」が登場するかどうかは、プレイヤーが任意に決めてください。

青澄とシエルの結婚報告パーティーに招待された「吸血鬼PC」とシエルが会話をする場面です(了は他の招待客に挨拶に言っています)。

▼場面描写

都内にある、一軒のレストラン。そこで開かれた青澄了とシエルの結婚式に、キミは招待されていた。空は快晴。祝い事にはうてつけの日だ。式も終わり、オープンテラスで招かれた客たちが談笑するなか、綺麗な青色のドレスを着たシエルが、キミの方へやってきました。

▼セリフ・シエル

り、十分に会話を行なっている場合は「血盟の日常」を省略し、「事件への介入」に進んでも構いません。

●事件への介入

SIDの課長室で、PCたちが青澄了とシエルが業血鬼に襲撃されて死亡したこと、青澄了の死体が現場から消えていることを知らされる場面です。日比屋響子は状況を説明すると、青澄の死体の行方を調査するよう命じます。

なお、日比屋響子は青澄が夜者として蘇っている可能性も想定してはいますが、確証がないためPCたちには話しません。PCの側からその可能性を指摘された場合は「その可能性も踏まえ、捜索を行なうこと」とのみ言い渡します。

▼場面描写

霞が関の警察庁地下にある、SIDの本部。その課長室へ、キミたちは来ていた。キミたちを呼び出した日比屋響子は、硬い表情で口を開く。

▼セリフ・日比屋響子

「青澄了と青澄シエルの両名が、業血鬼によつて殺害されたわ」「いまから約2時間前。非番だった2人から業血鬼と遭遇したという報告があったの。増援を送つたところ、2人の死体を発見。死亡が確認されたわ」

「一般人を逃がすため、装備を持たない状態で交戦。一般人の死傷者はゼロだけど、業血鬼は逃走しているわ」

「問題は、その先。現場封鎖を行なっていた職員が目を見失った瞬間に、青澄の死体が消失したの」

「青澄が死んでいることは、間違いないわ」（内臓まで切り裂かれた青澄の遺体の写真を見せる）

「事件を起こした業血鬼は別に追跡を行なわせているわ。あなたたちの仕事は、青澄の死体の捜索よ」

「なぜ死体が消えたのか、そしてどこにあるのか。まずは、それを突き止めるさ」

◆場面終了チェック

・日比屋響子がPCCへ青澄了とシエルの死亡を教えた。

・日比屋響子がPCCへ青澄了の死体が消えたことを教えた。

・日比屋響子がPCCへ死体の捜索を命じた。

調査フェイス

「調査フェイス」（『BLP』P.218）では、PCCたちが事件の調査を行ないます。

あった。その目は赤く輝き、唇の端からは牙が覗いている。

▼セリフ1…青澄了

「よお、「人間PCC」ちゃんに、「吸血鬼PCC」ちゃんじゃねーの。」

課長から、オレを探するように命令されたのかい？」

「見ての通り、今のオレは夜者さ。アイツは死んで、オレだけが生き返っちゃった」

「連絡をしなかったのは、悪かったよ。やらなきゃなんねーことがあって、忙しかったのさ」

（PCCが目的を尋ねたら）「んなもん、復讐に決まってるだろ」

「ただの吸血鬼じゃ、業血鬼とは戦えねえ。だが、他の連中に任せることも、他の吸血鬼と血盟になるのも、オレはゴメンだ。だから決めたのさ……」

「ちょうど、この連中で100人だ」

▼場面描写

青澄が自嘲めいた笑みを浮かべる。すると、キミたちは背筋の凍り付くような気配を、目の前の男から感じた。そして、身体が重く、息が苦しくなったような感覚。紛れもない血成が、青澄了を中心に展開していた。

▼セリフ2…業血鬼・青澄了

「これで分かっただろう？ オレは業血鬼になったのさ」

「オレの手で、あの業血鬼を始末する。ここでお前らと殺り合う」

●調査フェイス以降の演出について

このシナリオは、天気が重要な演出となつてきます。基本的には、各場面では曇り空や雨模様などの天気模様を演出しましょう。また、「マスターシーン3」では時間帯を夜にすることを忘れないよう、注意してください（前半では青澄はまだ夜者であり、日中は行動できません）。

「最終血戦フェイス」で青澄が倒された後は、雲が晴れて青空になる（あるいは日の光が晴れた空を照らす）という演出を加えると、よい雰囲気参加者の間で共有することが出来ます。

●マスターシーン3

PCCは全員登場。「情報開示」で「情報1」が開示された直後に発生。夜者となった青澄の後を追ったPCCが、彼が業血鬼となる瞬間に立ち会う場面です（業血鬼化の条件については『BLP』P.186で解説しています）。

▼場面描写1

夜も更けた頃。キミたちは、青澄が現われると予測した、ストリートギャングの溜まり場となっている裏路地とやってきた。切り裂かれたコンクリートの壁や、地面に空いた大きな穴が、激しい戦いを物語っている。路地の突き当たりまで進むと、喉を咬み千切られた男たちの死体の山と、その上に腰掛けた青澄了の姿が

つもりはねえ」

「オレの邪魔だけは、するなよ」（壁を蹴ってビルの屋上に飛び上がる）

◆場面終了チェック

・PCCの前で青澄が業血鬼になる演出を行なった。

・PCCが次の調査に向かった。

●マスターシーン4

PCCは全員登場。「情報開示」で「情報2」が開示された直後に発生。日比屋響子から、PCCたちへ青澄了の抹消が正式に命令される場面です。

なお、この場面はPCCたちが調査の結果をSID（日比屋響子）に報告していることを想定しています。もし、掴んだ情報を報告せず、何らかの偽装を行なおうとしている場合、この場面は発生しません。また、既にPCCたちが青澄に復讐を果たさせた上で、青澄を抹消する意志を固めている場合、GMはこの場面を省略しても構いません。

もしもPCCたちが青澄との戦いを拒否した場合、PCCたちは任務から外され、他の血盟が青澄の抹消を行ないます。「最終血戦フェイス」をスキップし、「終幕フェイス」へ移行してください。

▼場面描写

情報項目

このシナリオで用意されている情報は、次のふたつです。

▼情報項目名1…消えた遺体

▼開示値…3

▼内容…現場の痕跡を細かく確認したところ、微かな血液反応が現場から遠のいていることが判明した。また、事件後に青澄了と思しき姿が都内で目撃されていることから、彼は夜者（吸血鬼）となつて蘇つたと考えられる。そして、青澄が目撃された場所は、殺人事件が発生している。被害者は、いずれも青澄と因縁のある暴力団や半グレなど犯罪組織であり、次の出沒場所を絞り込むことは容易だ。急行し、青澄に会う必要がある。

▼情報項目名2…業血鬼・青澄了の行方

▼開示値…6

▼内容…青澄はシエルの仇である業血鬼カレントを追っている。業血鬼の居場所は、目撃情報の収集やS・I・Dのバックアップによつて特定が完了した。現在は豊島区にある廃ビルの最上階に立てこもっているようだ。次に青澄が現われるのは、ここで間違

キミたちは青澄の目的と、向かう場所を掴んだ。そこで、「人間PC」の端末にS・I・Dの課長室から着信が入った。

▼セリフ…日比屋響子

「人間PC」「吸血鬼PC」、報告に目を通したわ」

「現時刻をもつて、あなたたちへの命令を変更します。」「人間PC」

「および「吸血鬼PC」は、業血鬼・青澄了と業血鬼カレントの戦いが終了するまで付近にて待機」

「戦いの終了後、ただちに突入し、生き残った業血鬼を抹消しなさい」

「……戦闘経験からみて、勝利するのは青澄でしょうけどね」

（理由を尋ねたら）「業血鬼同士で殺し合うなら、生き残った1体を叩く方が確実であり、人的被害を抑えることができる。戦術的な観点から見て、当然の結論よ」

（青澄の抹消に反対したら）「たとえ復讐を果たしても、業血鬼は止まらない。彼の牙は、間違ひなく他の人間や吸血鬼に向くわ。我々は、それを阻止しなければならない」

（PCが命令を受諾した）「……よい報告を、期待しているわ」

◆場面終了チェック

・日比屋響子がPCに新しい命令を下した。

・PCが作戦地点へ向かう演出を行なった。

いない。もっとも、即突入すれば業血鬼2体と戦うことになる。日比屋響子の指示を仰ぐ必要があるだろう。

最終血戦フェイズ

「最終血戦フェイズ」では「吸血」と「血戦」を行ないます。

●吸血

「吸血」〔BLEP P23〕では、吸血の演出、および、手札の交換を血盟とに行なうてください。

●血戦

「血戦」では、PCたちが業血鬼・青澄了と決着つけます。場面描写や、青澄とPCたちの会話にキリがついたら「血戦」の進行〔BLEP P23〕に移ってください。

エネミーは青澄了×1。終了条件は青澄了の「戦闘不能」です。

もしPCが「青澄とカレントの戦いに介入する」という選択を行なった場合、カレントはエキストラとして「血戦」に登場します。

最初のラウンドの「終了」までに青澄が「戦闘不能」になっていない場合、青澄が業血鬼カレントを殺します（PCは阻止できません）。

逆に、最初のラウンドの「終了」までに青澄が「戦闘不能」になっている場合、PCが演出でカレントを倒すことが可能です。場面の演出やキャラクターのセリフは、GMがシチュエーションに相応しいものへ変更してください。

▼場面描写

いつしか、雨が降り始めていた。キミたちは業血鬼の気配を辿り、ビルの屋上へと上がる。そこには、刃と化した片腕で、業血鬼カレントの胸を貫いた青澄の姿があった。彼は、キミたちに目を向けると、どこか寂しげな笑みを浮かべる。

▼セリフ…業血鬼・青澄了

「よお、そろそろ来る頃だと思つたぜ。」「人間PC」ちゃん、「吸血鬼PC」ちゃん」

「見ての通り、シエルの仇はぶつ殺してやったよ。待つてくれて、ありがとよ」

「オレはさ、業血鬼が、なかなか理解できなかったんだ。なぜ、どう考えても合理的じゃない行動をとるのか。根源つて、何なんだ……つてさ」

「根源つてのは、心の奥……いや、魂の底に埋め込まれた、ドでかいエンジンみたいなもんだ。自分の意志じゃ止めらんねえ。思考が塗り潰されて、まさに突き動かされる……つて感じさ」

「オレは今、シエルのいなくなった世界で、のうのうと生きている

青澄了

あおずみ りょう

種別:ボス、業血鬼 根源:殺戮
脅威度:3 タイプ:アサルト

生命力:[P C人数×2]

先制値:17

▼エネミー特技

〈強者の一閃〉(きょうしゃのいっせん)

タイミング:攻撃 対象:単体 条件:なし

対象に[山札1枚+8]点のダメージを与える。[情報2]を入手していない場合、与えるダメージに+3する。

〈業の鎧〉(ごうのよろい)

タイミング:開始 対象:自身 条件:血戦1回

山札からカードを[P C人数]枚引き、[スタック]する。

〈根源技・殺戮〉(こんげんぎ・さつりく)

タイミング:攻撃 対象:場面(選択) 条件:解説参照

対象に[山札1枚+6]点のダメージを与える。シナリオに[P C人数÷2]回使用可能。

〈隠死刃〉(かくしやいば)

タイミング:解説参照 対象:自身 条件:血戦1回

[手番]が終了した際に使用する。あなたは即座に[未行動]となる。ただし、[手番]は[モブ]と同じ順番で行なう。

〈血の愉悦〉(ちのゆえつ)

タイミング:解説参照 対象:自身 条件:なし

あなたが攻撃でP Cに1点以上のダメージを与えた際に使用する。血戦終了まで攻撃で与えるダメージに+3する。この効果は3回まで重複する。

行動指針:[開始]で〈業の鎧〉を使用し、[P C人数]枚のカードを[スタック]([B L P] P 235)する。[手番]では[攻撃]で〈根源技・殺戮〉を使用する(使用回数が終わったら〈強者の一閃〉を使用)。ダメージを与えたら〈血の愉悦〉で次に与えるダメージを3増やす。また、[手番]が終わったら〈隠死刃〉を使用して[未行動]になる。ダメージには[タイプ:アサルト]の効果は適用済み。

解説:元S I Dの特別監督官。32歳、男性。いつもヘラヘラ笑っており、また軽い言動で周囲からはふざけていると思われがちだが、実は優れた観察力を持ち、仲間思いの(ちょっと素直じゃない)優秀な監督官。また、S I D移籍前は暴力団やストリートギャングなどに関わる組織犯罪対策部の所属であり、戦闘経験も豊富。家族の復讐のためS I Dに移籍し、シエルと血盟になる。最初はイヤイヤ行動を共にしていたが、彼女の優しさに惹かれ、恋人となった。

終幕フェイズ

「終幕フェイズ」(「B L P」 P 223)では、物語の終幕、あるいは後日譚を演出します。

「終幕フェイズ」が終わったら、セッションを終了し「クローズ」(「B L P」 P 224)に移ってください。

人間を、殺したくて、殺したくて、たまんねえのさ……」
「そういう訳で、オレは今からお前らを殺す。オレを殺しに来たんだろ? 死ぬ気でかかってこい!」
(やられた)「ああ……シエル……ここにいた……のか……」(晴れた空に手を伸ばし、灰となって消える)
◆場面終了チェック
・「血戦」が終了した。

カレント

解説:青澄了とシエルを殺害した業血鬼。外見は40代前半の白人系男性。根源は殺戮。もとは密入国した不法移民の半鬼であり、妻子と一緒に細々と暮らしていた。しかし日本人の犯罪者によって妻子が惨殺され、犯人と思しき人間を殺し続ける中で業血鬼化。その後は家族連れの人間たちを襲うようになる。

彼が被害者たちに何を見いだしていたのか、何を欲していたのかは、誰にも分からない。すべては終わった話。そして、再び復讐の鬼と化した青澄了とっても意味のない、哀れな男の物語である。

シエル

解説:S I Dの特別協力者であった吸血鬼(夜者)。25歳、女性。フランスの一般家庭に生まれ育つが、大学の卒業旅行で日本を訪れた際に吸血鬼が起こした大量殺戮に巻き込まれて死亡。その後、夜者として蘇り、S I Dに“保護”された。当初は少しの自由を得るために青澄了と血盟を結ぶが、彼の軽薄な態度の裏に隠された悲しみや優しさに触れ、惹かれていった。穏やかな物腰で大人しい性格だが、決めたことは譲らない頑固な一面もある。ちなみに、交際はシエルからの熱烈なアプローチでスタートしたという。